

平成29年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	栗田 利一
全体計画						経費区分	—			内線	3522	
事務事業名		8307 景観事業										
所 属		200200 まちづくり推進部・まちづくり課										
施 策		06023100 良好な景観要素の保全と育成の推進										
予 算		01 一般会計										
科 目		080405 土木費・都市計画費・まちづくり推進費										
事 業		030000 景観事業										
事業目的						事業概要・効果						
須坂らしい景観を市民との共創により守り育て、将来の子供たちにより良い景観として伝えていく。						須坂市の良好な景観を守り育てるため、須坂市景観計画に基づき景観行政を推進する。景観育成住民協定締結に向けた支援のほか、屋外広告物の規制及び指導の実施に努める。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
1 景観計画に基づく事前届出、指導等 2 景観育成推進委員会総会の開催、研修視察の実施	1 景観計画に基づく事前届出、指導等 2 景観育成推進委員会総会の開催、研修視察の実施
平成29年度 予定	平成30年度 予定
1 景観計画に基づく事前届出、指導等 2 景観育成推進委員会総会の開催、研修視察の実施	
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指 標 名	無し					
算 式						単位
年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		11	80
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		11	80
人 員 数 (人)	正規職員	0.4	0.4
	嘱託職員	0.1	0.2
	臨時職員	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	2,887.6	2,887.6
	嘱託職員	275.5	551.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	3,163.1	3,438.6
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		3,174.1	3,518.6

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	3	食料費
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	8	旅費

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	10	景観育成謝礼等
11節 需用費	3	食料費
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	67	景観審議会委員報酬、旅費

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	高い
評価コメント	景観に関する関心が年々高まっている。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	有効
評価コメント	景観計画に基づく事前届出制度や景観基準により、良好な景観が保たれている。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	事業費の縮減に努めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

景観計画による歴史的な蔵の町並みの特性を活かした景観行政に取組み、今後も継続して歴史的建造物を活かしながら維持保存活用を推進していく。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

景観計画に沿った景観行政を進める。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

良好な景観を守り育てるため、景観計画に沿った景観の保全に取り組んでいく。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント